

- 今年度 校内模試スケジュール
- 2026年度入試情報
- 先輩の受験体験を参考に
- 今後の予定

## 失敗談と悩みからの暫定解

国語科 石鍋雄大

18歳の私は、大学の門戸を叩いたがことごとく拒絶され、結局七番目に叩いた大学に入学した。受け入れてくれた大学は、超実践的で振り返ればとても意義のある大学生活でした。でも、自意識過剰で不遜な大学生だった自分は、どうせ第七志望だし…というふてくされた感情で4年間を過ごしていました。完全な八つ当たり。今思えば、受験勉強はめちゃくちゃでした。なんとなく感覚でその日のやる勉強を決めていたし、質より量という謎のテーマを持って取り組んでいました。なんでそんなテーマを掲げたのか全くわからないし、可能ならばあの頃の自分に聞いてみたい。

サンテグジュペリは「計画のない目標は、ただの願望に過ぎない」と言っただろう。

きっと高校時代の私の頭の中は願望でいっぱいだったのでしょう。みなさんには、ぜひ、願望ではなく目標を立ててほしいものです。「お金持ちになりたいな〜」みたいな例から分かるように、えてして願望というのはほとんど白昼夢みたいなものなので、気楽で気持ち良いものです。目標は、全然そんなことなく、やることはいっぱい出てくるし、締め切りが迫ってくるから、不安で焦るかもしれません。でも、やっぱり、それでも、目標は立てなきゃいけないですよ。だって、今までの努力を形にしたい訳ですから。

そこで、国語の教科書にアドバイスを求めると、『握手』のルロイ修道士が「困難は分割せよ」と言っています。

目標達成までの不安はいろんな種類があるけれど、どこから手を付けていいか、このやり方で合っているのかという不安は皆がもちやすいものだと思います。分割しましょう。自分の目標に対して、現在の自分との差分を考え、何をすればいいのか考えましょう。わからなければ、数値で考えましょう。具体的な合格者数は？実際の受験者数は？共通テストと二次試験の割合は？それぞれ何点取れば合格する？受験校を第一志望にしている人は全国で何人いる？データは調べればいくらでも出てきます。どんどん調べると不安は軽減されるし、やることは分かってきます。ちなみに私は、「たくさん点をとれば受かるんだからたくさん取るぞ」という大変ムジャキな思想でした。絶対やめたほうがいいですね。

受験や大学が人生のすべてなんて思ってないけれど、私の場合は、その後、大学院に行ったときに「大学受験の失敗」という呪縛からいっせいで解放されたように思うわけで、やっぱり努力は報われた方がうれしいよなと思います。一方で、あの時自分が受験に成功していたら大学院は行っていないだろうし、でも、他の人と比べて二年のラグ（教員採用試験に落ちたので本当は三年）と百万近い学費という負債を負ったわけで、何がイイコトなのかは良くわからないのだけれど。

とりあえず、目標を立てて、具体化して、分割して、一つ一つやってみましょう。適切な努力による小さな目標達成の積み重ねが、きっと新しい場所に連れて行ってくれるはずです。

## ○今年度 校内模試スケジュール

新宿高校では、外部の模擬試験を「実力テスト」等の名称で、校内で実施しています。駿台や河合の模試は校外会場でも実施されますが、同じ模試の場合は、校外会場では受けなくて、校内で受験してください。学年ごとの予定は以下の通りです。

### 1年生

・スタディーサポート (ベネッセ)	5/2 済
・進研模試 7月 (ベネッセ)	7/7
・GTEC	9/17
・進研模試 11月 (ベネッセ)	11/5
・全統高1記述模試 (河合塾)	1/30

### 2年生

・進研模試 7月 (ベネッセ)	7/7
・GTEC	9/17
・進研模試 11月 (ベネッセ)	11/5
・全統高2記述模試 (河合塾)	1/30
・共通テスト模試 (河合塾)	3/9, 10

### 3年生 (\*外部模試: 学校で一括申込、校外会場を受験)

・第1回全統記述模試 (河合塾)	5/2 済
・進研記述模試 (ベネッセ)	7/7, 8
*全統共通テスト模試 (河合塾)	7/27
・第3回全統記述模試 (河合塾)	9/28
・駿ベネ記述模試 (駿台ベネッセ)	10/4
・駿ベネ共通テスト模試 (駿台ベネッセ)	11/4, 5
*全統プレ共通テスト (河合塾)	11/16
・共通テストシュミレーション	12/23, 24

※共通テストシュミレーションは、校内にて当日を想定し同様の時間割での実施を予定しています。

### ※3年生へ【ドッキング判定】について

国公立大学の総合判定は、マーク模試と記述模試の結果を組み合わせたドッキング判定を用います。

- ・10月駿ベネ記述模試+11月駿ベネ共テ模試
- ・第3回全統記述模試+11月全統プレ共テ
- ・共通テスト自己採点結果+10月記述模試

でドッキング判定が出ます。その判定結果を参考にして面談等を行い、最終的な出願校を決めていきます。

また、大学名のついた“冠模試”も積極的に受験することをお勧めします。

## ○【2026年度入試】各大学の主な入試変更点

### 横浜国立大学

経営学部経営学科、DSEP前後期で募集人員変更。  
教育学部学校教員養成、学校推薦型廃止および総合型の募集人員変更。  
都市科学学部都市社会共生学科、後期募集人員変更。

### 筑波大学

全学群、共通テストでの「情報」配点変更。  
人文・文化学群日本語・日本文化学類、前期日程新規実施。  
人間学群教育学類および心理学類、学校推薦型および後期の募集人員変更。  
理工学群化学類、前後期で募集人員変更。

### 東京都立大学

健康学部看護学科、学校推薦型を共通テストを課す選抜へ変更。  
法学部法学科、チャレンジ入試廃止。  
都市環境学部、総合型および学校推薦型の募集人員変更。  
システムデザイン学部航空宇宙システム工学科、後期で募集人員変更。

### 北海道大学

全学部、共通テストでの「情報」点数化。  
医学部保健学科、前期で募集人員変更。

### 京都大学

理学部および工学部、特色入試で女性募集枠新設および募集人員変更。  
工学部電気電子工および情報学科、募集人員変更。

### 早稲田大学

教育学部、共通テストC方式に「情報」必須。  
国際教養学部、共通テスト併用方式で国語が必須から選択に変更、公民の選択が可能になる。

## ※参考

パスナビ (2026 年国公立入試変更点速報)

[https://passnavi.obunsha.co.jp/article/exam\\_analysis/03/](https://passnavi.obunsha.co.jp/article/exam_analysis/03/)

河合塾 (2026 年度入試 入試変更に関する資料)

<https://www.keinet.ne.jp/exam/2026/change/national/>

※今後変更の可能性もあるので、各大学公表の最新情報を大学HR等で定期的に確認してください。

## ○先輩の受験体験を参考にしてみよう

先日、部活動保護者会の全体会で、卒業した 77 回生の先輩が受験体験を語ってくれました。先輩方のお話を抜粋します。

### ① 授業・定期テストを大切にす

部活動が忙しく、なかなかまとまった家庭学習の時間が取れなかったため、授業や定期テストを大切にしました。まずは授業に集中して、授業中に覚えることをしっかり覚える。きちんと覚えているかを定期テストで確認する。テストを解き直して覚えきれていないところを完璧にする。定期テストは自分の弱点を知るチャンス。基礎基本を身に付けておくことが、受験生になった時の大きなアドバンテージになったと思う。

### ② 忙しさを言い訳にしない

小テストの勉強や週末課題など、学校の課題はすきま時間にやっていた。忙しいからこそ少しの時間も無駄にしないという意識が、受験勉強でも役に立ったと思う。また、部活をやりきったことで、受験を乗り切る体力や精神力も身についた。部活も行事もがんばってほしい。

### ③ 目標を早く定める

自分は「勉強しなさい」と親や先生に言われた記憶がないが、おそらく、言われなくても勉強していたからだと思う。「〇〇になりたい」「〇〇大学に入りたい」という具体的な目標を定め、そのためにはどの科目が必要で、どんな勉強をしたらいいのかを考えたら、自然に勉強するようになった。目標がまだ定まらない人は、とりあえずオープンキャンパスに行ってみて興味を持つ、というところからスタートすればいい。

ネット上にも受験体験を語る投稿があふれていますが、同じ新宿高校で過ごした先輩方の話は一番参考になるのではないのでしょうか。6 月以降配布される『進路のしおり』にも先輩方の体験が載っていますのでぜひ参考にしてみてください。

## 先輩からの言葉

# エネルギーって面白い！

前東京電力社長

23 回生 廣瀬 直己

皆さん、日本のエネルギー自給率ってどれくらいかご存知ですか？

自給率とは、外国からの輸入に頼らず自前で調達可能な割合ですが、現在の日本のエネルギー自給率は僅か 15% です。国内に資源を持たない日本は、石油、石炭、天然ガスなどの燃料をほぼ 100% 輸入していますので、当然のことながら低いのですが、危険なまでに低いとも言えます。似たような数字に食料自給率がありますが、日本のそれは 37~38% ですから、エネルギー自給率の低さが特に際立ちます。

逆に、自給できているのは、太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーの他、原子力発電は燃料を交換せずとも 1 年以上は運転継続できるため準国産エネルギーと評価され、15% の中に含まれています。

エネルギーを考える上で一般的に重要視されるのは、①安定的に入手できること（エネルギー安全保障：Energy Security）、②価格が低廉なこと（Economy）、③環境負荷が小さいこと（Environment）の3つで、頭文字を取って3Eとも呼ばれています。非常に難しいことですが、この3つのEを如何に同時に満たしていくかが鍵です。

資源の無い日本では、1970年代に起きたオイルショックの経験から、特に①を重要視し、LNG（液化天然ガス）や原子力を導入し、エネルギー源や生産国の多角化を図るなどしてきました。②価格の安さはいつの時代にも求められることですが、加えて21世紀に入ると③環境への影響を少なく抑えることが重要視されるようになってきます。CO2の削減です。

そこにウクライナ危機勃発で再び①安定確保の重要性に認識が高まる、、、といった具合に、時々プライオリティをつけながら3つをバランスさせることが求められます。

エネルギーの中でも電力は2次エネルギーと呼ばれ、ガスや石油、石炭などの1次エネルギーから作られる製造物で、1次エネルギーよりも3Eの達成が特に困難です。もとより停電すると社会的な影響が甚大であるため①安定供給は最重要ですが、電気は貯蔵出来ないために難易度が上がります。③脱CO2の切り札である太陽光や風力などの再生可能エネルギーは、夜間や無風時のバックアップが必要となり、問題を難しくさせます。

一方、誰もが必要とする電力を絶やすことなくお届けするという仕事には大きな社会的使命があり、公益的であり、難しい仕事ではありますが、大いにやり甲斐のある正にチャレンジングな仕事です。

仕事の中身は、理科系であれば、電気工学はもちろん、発電所やダム建設のための土木・建築の他、機械工学、環境、化学、システム工学、通信、原子力、都市工学など、多方面に亘る知識を必要とする仕事があります。また、文科系でも、法律や財務・会計、マクロ経済、マーケティングなどの他、エネルギーと言う国際戦略物質を取引する上で外国との仕事も多く語学だけでなく国際関係の知識を必要とする仕事もあります。電気事業を志すために学生時代に学んでおくべきと言うより、勉強してきたことが活かせる仕事が電気事業にはあると言った方が適切かもしれません。

私は東京電力に45年間勤務しました。最後の10年間は、福島原子力事故によって極めて難しく厳しい仕事を担うこととなりましたが、それでも東京電力で電気に関わる仕事に長きに亘って従事出来たことで多くを学び、とても充実した時間を過ごすことが出来たと思っています。

若い皆さんがエネルギーに関わる仕事を目指し、日本の経済社会の更なる発展を担って行かれることを切に願っています。

（同窓会のご協力を得て「先輩からの言葉」を掲載しています。）

## ○今後の予定（進路関係）

5月30日 夏期講習の申込〆切（3年生）

6月上旬 『進路のしおり』納入予定（配布日は学年により異なります）